

## ● 日本一記念！ 給食に鹿児島黒牛 1200 食



3月9日、町内小中学校の給食に「鹿児島黒牛」が約1200食分提供されました。昨年開かれた第11回全国和牛能力共進会宮城大会で鹿児島県が団体総合優勝したことを記念し、子どもたちに農業や生産者へ関心をもってもらおうとJAきもつきと町が協力して企画したものです。

国見小学校では、PRイベントも実施され、永野町長や西之園教育長、下小野田組合長、江口高山和牛振興会会長らが一緒に給食を食べました。4年生の福留陽愛さんは「おいしくていつもよりたくさん食べられました」とうれしそうに話していました。



校庭には黒牛親子登場



### 「日本一のお肉を食べて」

国見中学校2年 園田南

鹿児島県の黒牛が和牛オリンピックで日本一になったことをニュースで聞いて私はすごいなと思っていました。

そしてすぐに、学校では給食で黒牛のお肉が出るかもしれないというわさがあり、「ひょっとしたら」ととても楽しみにしていました。日本一の牛肉が食べられるかもしれないと思うだけで、わくわくしました。

待ちに待ったある日、ついに給食に鹿児島黒牛のステーキが登場しました。私は肉にはあまり詳しくないのですが、目の前に並んだ時に、思わず「うわあ〜」と声を出しました。楽しみだったものがとうとう食べられるんだと思い、「いただきます」と言ってすぐにステーキを口に運びました。瞬間肉汁が口の中に広がり、何とも言えないおいしさでした。最高の味でした。私は小食で給食はご飯の量が多くていつも大変なのですが、この日はご飯が足りないくらいでした。班の中に牛を育てている友達がいたので、食べながら牛のことを聞きました。牛を育てるのは大変だけど、農家は愛情をこめて育てているということでした。だからこんなにおいしいのかなと思いました。男子はお肉を口に入れた後、ご飯を口一杯に入れニコニコおいしそうに食べていたので、見ているだけでおいしさとうれしさが伝わってきて、心がホカホカしました。もう本当においしくておいしくて最高の給食になりました。

おいしいお肉をくださった関係者の皆さま、本当にありがとうございました。

### ○ 作文紹介 ○

給食の提供にあわせて、町内の町立小中学校の児童生徒から感謝の作文をいただきました。ここでは2校分を紹介します。肝付町文化センターのホールに全学校分掲示していますので機会がありましたらご覧ください。

### 「ごちそうさまでした」

内之浦小学校5年 佐伯和嘉

「昨年9月に、5年に一度行われる牛のオリンピックが開きされ、みごと鹿児島県の黒牛が、日本一にかがやきました！！」

私は、これを聞いて、牛のオリンピックが開催されるなんてすごいと思った。今度給食に出ると聞いて、とてもわくわくした。

日本一になった鹿児島県の黒牛は、やわらかくて、口の中で肉が少しずつほぐれていくようで、とてもおいしかった。ふだん食べているお肉とちがってとても食べやすかった。先生がもってきた牛の肉の部分の表を見て、こんなに食べられる部分があるんだなと思った。日本一になった鹿児島黒牛をもう一度食べたいと思った。

今回とてもおいしい肉牛を給食に出してくださり、ありがとうございました。これから私は食事を食べるときに、命の尊さを考えたいと思った。

「ごちそうさまでした！」